



技術・研究分野 | 技術
優秀賞 (林野庁長官賞)
連続開口設計サポート
株式会社LIXIL

評価ポイント 木材でつくられた開口ユニットを構造解析し、開口部を耐力壁とする在来木造住宅を可能にする新規性ある構法で、開放的で利便性の高い空間づくりを消費者へもたらすことに成功している。システム化によって一般ビルダーへの普及を目指し、暮らしの豊かさをもたらす木造住宅や木造商業施設を広げていくというビジネスマodelとして効果がある。

概要

一般的な流通木材で構成した開口ユニットを用い、ユニットごとに構造解析し、予め壁倍率を算出。それを反映し、邸ごとに家一棟全体の構造計算を実施し、一般的な木造住宅を供給しているプレカット会社/一般ビルダーで開口部を耐力壁とする在来木造住宅を提供可能とするシステムです。
元々、日本人が慣れ親しんだ木造住宅は現在の木造に比べ、とても開放的なものでした。しかし、断熱気密耐震の確保等の制約でデザイナーの意図を実現しづらい面が現在の在来木造住宅にあり、設計的な意図ではなく開口部が小さくなる傾向にあります。このシステムを使って、一般ビルダー・PCによって開口自由度を持った在来木造住宅を実現することで、今まで以上に室内が明るく、風通しのよい快適な、日本人にとってなじみ易い、開放的な木造住宅で暮らすことができます。

◆http://www.lixil.co.jp/lineup/construction_method/smart_skeleton/
仕様:開口部を耐力壁とした在来木造住宅の提供システム
価格:構造計算料350,000円(延床面積150㎡未満)(税別)
入手先:株式会社LIXIL

004



建築・空間分野 | 屋内空間
優秀賞 (林野庁長官賞)

ららぽーと海老名キッズプレイエリア
「ウッドキューブ」

大建工業株式会社、パワープレイス株式会社、三井不動産株式会社

評価ポイント 子ども・子育て層に対する、「木が身近にある暮らし」を、ユニット型木質空間という形で商業施設やイベント等でフレキシブルに活用する社会性ある提案である。造作のデザインも秀逸で、木の良さ、楽しさを実感させ、家庭での木づかいにもつながっていく可能性があり、優秀賞とした。

概要

三井不動産株式会社が新しく手掛けた大型商業施設「ららぽーと海老名」にある、親子が一緒に遊び、国産材の良さを実感できるキッズプレイエリア。ユニット化された家具型木質空間は、同社の保有林である北海道のカラマツ、トドマツ間伐材を使用。施設の通路を木質化し、創造を育む木のおもちゃや造形パネルも設置した。木の良さを身近に感じ、心地よく過ごせる環境を提供している。

幅広い世代が多数利用する大型商業施設に設置した、木育ひろば空間には、子供や大人がいつまでも心地よく居られることを狙いとし、色や見た目で強く主張するものを控え目に押さえた。壁面には、木製おもちゃを5つの構成(デザイン・動き・物語・感触・音)に配置し、子供たちの創造力を養い、感性に働きかける要素も取り入れた。若い世代にも、もっと木の良さを知ってもらえる、今までにない商業施設として利用を期待している。

◆仕様躯体:集成材(カラマツ)、床:無垢フローア(アカマツ)

002



建築・空間分野 | その他
優秀賞 (林野庁長官賞)

JRKYUSHU SWEET TRAIN
「或る列車」

九州旅客鉄道株式会社

評価ポイント 木質の美しく快適な内装空間のデザインは、そこが列車内であることを忘れさせるほど印象的で充実感をもたらす。九州の地域の魅力を発信する車両床、家具、窓の板戸・障子、窓飾り組子、雪見障子などに地域の杉材が使われ、まさにハートフルな空間づくりにつながっている点を高く評価した。

概要

明治39年(1906年)、当時の「九州鉄道」がアメリカのプリル社に豪華客車を発注したものの、活躍する機会がなかった「九州鉄道プリル客車」、通称「或る列車」。世界的な鉄道模型の神様といわれた故・原信太郎氏が作成した模型を元に、水戸岡鋭治氏がデザイン・設計。「原鉄道模型博物館」副館長を務める原健人氏が監修。1号車車内はロマンチックな色の木材を使用し、格子天井等のクラシカルな雰囲気を感じられる空間に、2号車車内は落ち着いた色の木材と組子の雪見障子を使用した個性的なコンパートメント(個室)空間としています。ふんだんに木材を使用した豪華な車内とともに旅を演出するのが、世界的にも評価の高い成澤由浩シェフのスイーツコースです。

◆http://www.jrkyushu-aruressha.jp/concept
仕様:2面1編成

005



コミュニケーション分野 | イベント・ワークショップ (継続)
優秀賞 (林野庁長官賞)

住まいの耐震博覧会

ナイス株式会社

評価ポイント 「木を使う住まいづくり」のあらゆる情報を、一般ユーザーだけではなくプロユーザーにも提供している点が素晴らしい。耐震やエネルギー、健康配慮など暮らしに欠かせない要素の最新情報に一同に触れることができる機会を提供しており、消費者からプロまで木づかいの選択肢を広げる契機となっている。

概要

「住まいの耐震博覧会」は木を活用した住まいづくりや暮らしの提案をはじめ、耐震性や省エネ性、健康性に優れた最新の家づくりについて、一般消費者からプロユーザーまで幅広く情報発信しています。ナイス株式会社の主催により、公共団体をはじめ、木材・建材の製造・流通事業者、住宅施工事業者などが広く参画しています。2015年は東京、名古屋、仙台、大阪、福岡の5カ所です。2002年からの累計来場者数は170万人に上ります。2016年より木材関連展示を独立させ、(一社)木と住まい研究協会、(一財)木構造建築研究所との共催で、林野庁の後援により「木と住まいの大博覧会」として同時開催しています。

◆http://www.nicefair.com/
入場無料

003